

News

キッズサイエンス2021開催！

8月7日(土)、当センター2Fを会場にキッズサイエンス2021を無事開催できました。昨年に続き、マイコンを使った小学生向けのプログラミングキットにより、市内及び平泉町の小学生40名にプログラミングを体験してもらいました。講師は、一関高専元教授の千葉悦弥先生と教授の鈴木明宏先生にお願いしました。当日は、真夏日となり、当センター保有の扇風機5台とエアコンをフル稼働しても追いつかない状況でしたが、参加した子供たちがプログラミングに夢中になっている姿がとても印象的でした。新型コロナウイルス感染症対策として、3密回避策で1グループ10名、1時間×4回に分けての実施や、各回毎のアルコール消毒を徹底して行いました。感染者を出さずに実施できてほっとしております。



千葉悦弥先生のプログラミング講義



プログラミングの様子①



プログラミングの様子②



2回目グループの集合写真



産学官イブニング研究交流会の開催について

- ◆「第3水曜日はイブニングの日」として、毎月開催して参りました産学官イブニング研究交流会ですが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながらご案内して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- ◆8月及び9月の開催は見送ります。

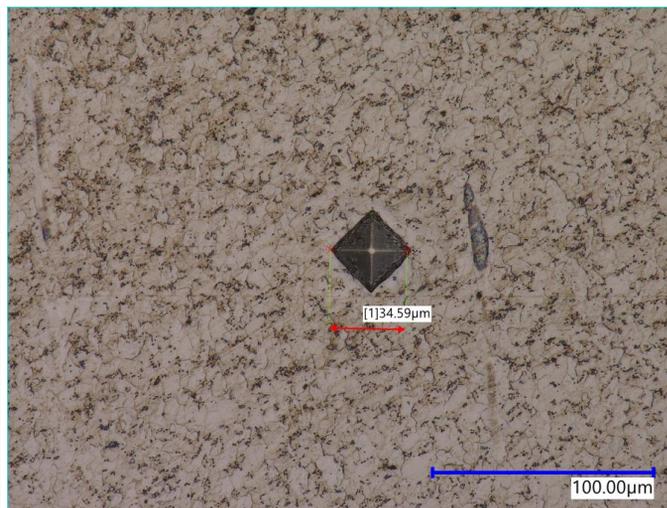
硬さを測定する方法は様々あり、対象物も金属、プラスチック、ゴムなどによって使い分ける必要があります。測定対象にダイヤモンドなどの硬い端子（圧子）を押しつけて出来る圧痕の大きさから求める方法として、ロックウェル（HR）やビッカース（HV）、鋼球などを試験片に落下させてその跳ね返りより求める方法としてショア（HS）などがあります。

マイクロビッカース硬度計は圧痕が数100um程度と小さく、たとえば断面の硬さの分布や焼き入れの深さ、セラミック材料の硬さ、一部プラスチックの硬さ試験に使用することが可能です（JIS R 1610、Z 2251など）。

実際に、ネジの断面を作製し、硬度測定を行った写真を示します。○で囲われた部分が圧子を接触させた場所であり、目視レベルでは確認することが難しいほど小さい圧痕となります。圧痕部分を拡大すると今回の試験では、約30umの長さである事がわかります。キズが多いとその凹凸の影響を受けやすくなるため、観察面は傷が無い状態が望ましいです。



全体像と測定ポイント



B部分の1000倍拡大図

## News

## 人材育成講座のご案内

-詳細はお問合せ下さい。-

	講座名	内容	日程
1	分析技術習得講座 (オーダーメイド分析研修)	①表面分析と観察技術研修 ②微量・微小領域の異物特定技術研修	①8/26 定員3名 満席 ②9/2 定員3名 満席
2	金属材料講座	①金属組織観察研修 ②金属材料試験及び破面観察研修	①9/7 定員5名 募集中 ②9/8 定員7名 満席
3	3次元CAD基礎講座	Fusion360の基本操作と3Dプリンター*1	9/30~10/1(2日間) 定員8名 満席
4	機器分析講座	①蛍光X線分析装置研修コース ②赤外分光光度計(FT-IR)研修コース ③走査型電子顕微鏡(SEM-EDX)研修コース	①10/8 募集中 ②10/15 募集中 ③10/22 募集中

\*1:当センターでは、**Stratasys社製の3Dプリンター最新機種「Stratasys F120」**を期間限定で設置しております。造形方式はFDM（熱溶解積層法）タイプで、材料はABS樹脂となります。事前予約制で**無料**でご利用頂けます。**9/30、10/1**に開催を予定している**3次元CAD基礎講座**でも**操作方法を説明致します**ので、是非ご活用下さい。